

第51回 株主通信

2018年度第2四半期

2018年4月1日から2018年9月30日まで



株主の皆様へ	1
上半期 業績ハイライト	3
特集1 中期経営計画の進捗	5
特集2 健康・長寿社会の実現への取り組み	
介護に関するサービスの提供	7
健康に関するサービスの提供	8
社内における取り組み	9
個人投資家様向けオンライン会社説明会開催のご案内	10

株主の皆様へ

2018年6月に代表取締役社長に就任いたしました本間です。

「Global 3rd Stage」に向けた歩みを、

スピード感を持って確実に前進させていくことが私に課せられた使命と捉え、

NTTデータの企業価値向上に鋭意邁進していく所存です。

この場をお借りして、株主の皆様にご挨拶申し上げます。

代表取締役社長

本間 洋



経歴

1980 日本電信電話公社入社
2013 当社 常務執行役員
第三法人事業本部長
2014 当社 取締役常務執行役員
エンタープライズ
ITサービスカンパニー長
2016 当社 代表取締役副社長執行役員
2018 当社 代表取締役社長(現在に至る)

2019年度以降、私たちはいよいよ2025年頃を到達点とする「Global 3rd Stage」に向けた前進を開始いたします。

「Global 3rd Stage」では、年間売上高50億円相当を超える顧客数100社超、主要国で売上高Top10、全世界でTop5の売上規模をめざします。めざす姿に向けて、M&Aも選択肢としつつ、「デジタル」と「グローバル」をキーワードに、「質を伴った成長」に力点を置いていく所存です。

「デジタル」については、AI、IoT、ビッグデータ、VR、ロボティクス等、最先端の技術を活用しながら、お客様に対して新たな体験や価値を提供するためのイノベーションを起こしていきたいと考えております。

また、デジタルの時代においては、「どうつくるか」という「How」のアプローチに加えて、「何をつくるか」という「What」のアプローチが重要になってまいります。

Global 1st Stage (2016年度)

グローバルカバレッジの拡大

世界45カ国・地域、185都市へ
地理的カバレッジを拡大
NTTデータグループ全体で約8万人体制を確立
(現在では、53カ国・地域11.8万人)



Global 2nd Stage (2018年度)

グローバルブランドの確立

海外売上高比率50%と
連結売上高2兆円超をターゲットとし、
グローバルブランドの確立をめざす



そのアプローチに必要となる上流工程の企画力や
コンサルティング力を強化しながら、デジタルビジネスを推進してまいります。

「グローバル」については、強みを明確にして競争優位性を持ちながら、提供価値を高めていくことが最も重要だと考えております。世界中のグループ会社が一体となって機能することで、世界中に提供可能なソリューションやサービスをつくり上げ、グローバルに事業を展開するお客様からのこれまで以上に高度な要求に応えてまいります。

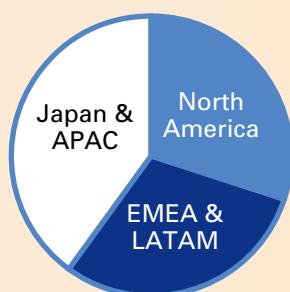
今後はこれらの考えを盛り込みつつ、「Global 3rd Stage」に向けた具体的な施策を策定し、次期中期経営計画を来年の春頃に発表する予定です。

株主の皆様におかれましては、何卒よりいっそうの
ご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

Global 3rd Stage (2025年頃)

Trusted Global Innovator

～信頼されるブランドの浸透～
Global Top5の企業として、
世界のお客様から信頼される
企業をめざす



顧客基盤* 100社超

主要国 Top10

グローバルシナジー

* 年間売上高が50億円以上(日本)
もしくはUS50M\$以上の顧客

上半期 業績ハイライト

2018年度上半期業績のポイント

好調な国内事業、EMEA・中南米の規模拡大等により、対前期比で増収増益となり、通期業績予想に対して順調に進捗

売上高

前期	9,605億円
当期	10,227億円

↑
前期比
+6.5%
+623億円

当社株主に帰属する四半期利益

前期	353億円
当期	387億円

↑
前期比
+9.4%
+33億円

受注高

前期	8,758億円
当期	9,204億円

↑
前期比
+5.1%
+446億円

営業利益

前期	563億円
当期	601億円

↑
前期比
+6.6%
+37億円

配当金(中間配当)

前期	7.5円
当期	8.5円

↑
前期比
+1円

1

2018年度上半期の業績について

受注高、売上高、営業利益、当社株主に帰属する四半期利益のいずれも前期比で増加しており、順調に進捗しています。

受注高については、公共・社会基盤において前期からの反動減があったものの、金融及びEMEA・中南米における好調な受注により、前期比で増加となりました。特にEMEA・中南米は第2四半期でも大きな伸びとなっており、好調を維持しています。

売上高については、法人・ソリューションを中心に国内事業が引き続き堅調に推移していることに加え、EMEA・中南米におけるオーガニック成長によって拡大し、前期比で更に伸びています。

営業利益については、不採算の影響はあったものの、増収に伴い前期比で増益となっています。

2

当期の通期業績予想について

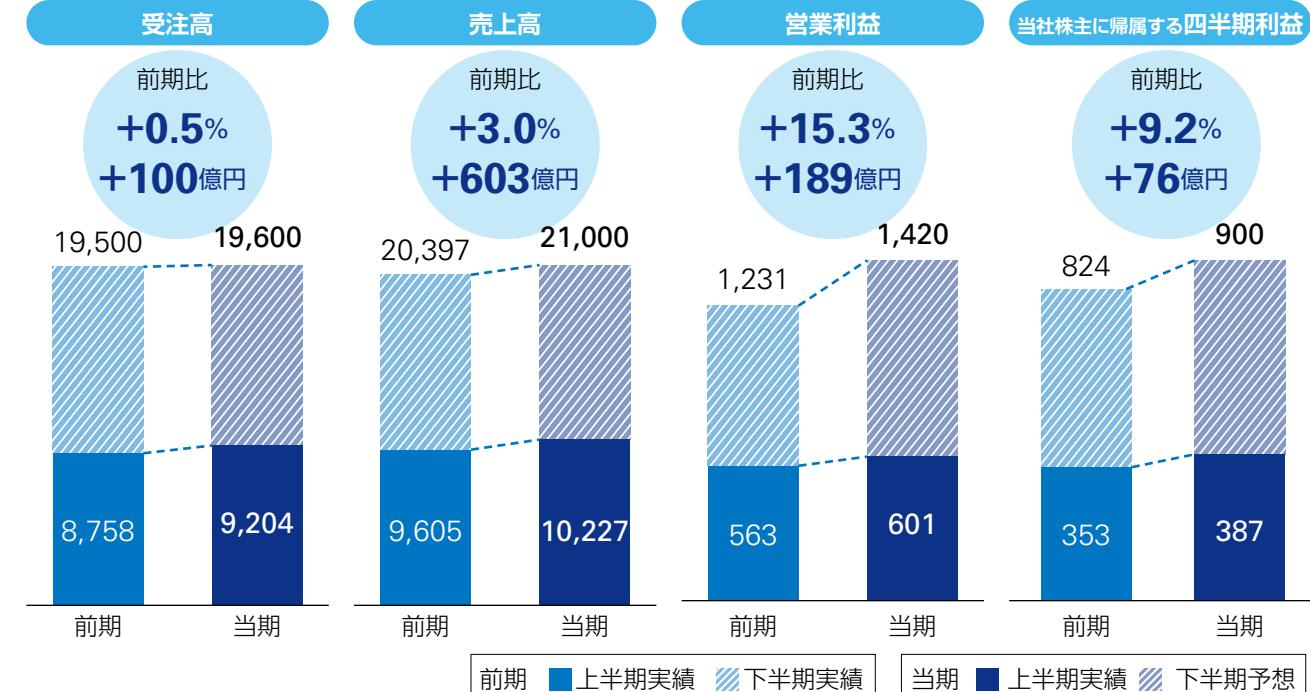
いずれの項目も通期業績予想に対して順調に進捗していることから、通期業績予想は変更していません。引き続き、中期経営計画で定めた戦略を着実に実行し、通期業績予想の達成に向けて取り組んでまいります。

▶P.5-6:「特集1 中期経営計画の進捗」

株主様への還元については、連結ベースにおける業績動向、財務状況を踏まえ、今後の持続的な成長に向けた事業投資や技術開発、財務体質の維持・強化及び配当とのバランスを総合的に勘案して配当を決定し、安定的に実施していく方針です。

2018年度の年間配当金は1株当たり17円(前期比2円増配)を予定しており、中間配当金は1株当たり8.5円(前期比1円増配)とさせていただきます。

当期の通期業績予想 (単位: 億円)



中期経営計画(2016年度～2018年度)では、ローカルプレゼンスの向上を中核テーマとし、連結売上高2兆円超、調整後連結営業利益額50%増※(対2015年度)を目標として定め、グローバル共通戦略「リマーケティングの更なる深化」と「技術革新による価値創造」に取り組んでいます。

NTT DATA : ASCEND

Rise and grow our global brand

2016年度～2018年度

2018年度目標

連結売上高
2兆円超

調整後
連結営業利益額
50%増※

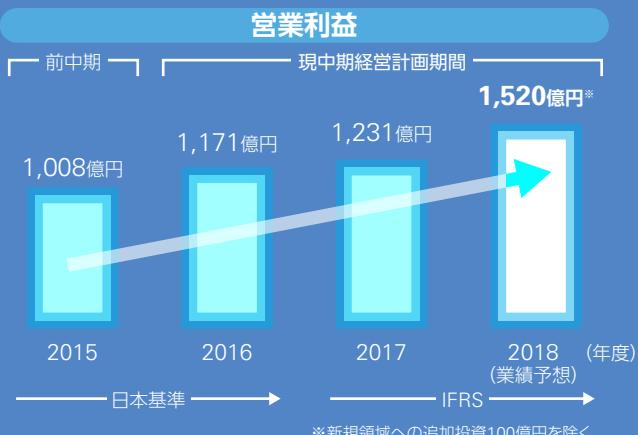
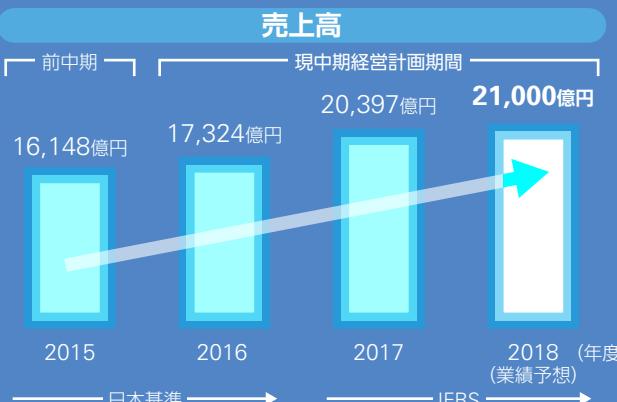
グローバル共通戦略

リマーケティング
の更なる深化

技術革新による
価値創造

※対2015年度(調整項目:新規領域への投資増分)

国内外のビジネスが持続的に成長し、中期経営計画の最終年度である2018年度に目標達成をめざす



リマーケティングの更なる深化

長年にわたる信頼関係から培ったお客様業務への深い理解を活かして
計画通り着実にシステムをリリース、国内の金融基盤の高度化に貢献

日本全国の金融機関を相互接続し、
振込取引等の決済処理を行う金融基盤を
長年にわたり提供



国内の金融基盤の高い安全性・信頼性の維持と、
銀行利用者の利便性向上を実現

コアシステム 平日8:30～15:30の振込・即時入金

モアタイムシステム 平日夜間・休日の振込・即時入金 2018年10月9日サービス提供開始

任意の参加金融機関において、
24時間365日の振込・即時入金を実現

お客様業務への深い理解を活かし
金融基盤の更なる高度化に取り組む

技術革新による価値創造 —最先端技術の活用—

インドの医療機関にてAI画像診断支援の実証実験を完了
北米市場における顧客基盤を活用し、グローバルでのソリューション展開をめざす

AI画像診断支援ソリューション

- ・患者の医療画像から疾病をAI技術で分析
- ・190億枚をこえる画像アーカイブをもとに、疾患の可能性がある箇所を表示
- ・脳出血をはじめとした12種類の疾患に対応

実証実験の概要と結果

- ・インドのDeenanath Mangeshkar病院^{※1}で389名分のCT画像を診断
- ・56件の疾患を検出(従来の診断では17件^{※2})



今後の計画

- ・国や地域による疾病の違いに対応するため、継続して複数国での課題抽出
- ・グローバルでのプレゼンスを活かしグローバルへの普及を加速

※1 インド・thane市にある、800床を持つ市内最大規模の総合病院。正式名称は、Deenanath Mangeshkar Hospital and Research Center

※2 差分は、医師が緊急の治療が不要と判断した軽度の疾患

特集 2 健康・長寿社会の実現への取り組み

SDGsに代表されるように、持続可能な社会の実現に向けては解決すべき課題が数多くあり、「人生100年時代」を迎える社会において、健康・長寿社会の実現もその一つです。NTTデータグループは健康・長寿社会の実現に向けて様々なサービスをお客様に提供するとともに、社内における取り組みも推進しています。

ITの活用によって貢献できる社会課題の例



介護に関するサービスの提供

見守りロボットサービス「エルミーゴ」

本サービスは、高齢者のベッドサイドに設置したセンサーとロボットが連動して高齢者の状態を検知し、介護スタッフへの通知やロボットからの声掛けを行うことができます。これにより、介護スタッフの負担を軽減したり、質の高い介護サービスを提供することができます。また、ロボットとの会話によって高齢者のコミュニケーションを促進させることができます。今後は、AI技術を活用して高齢者的心身状態を収集・分析し、将来を予測する技術を検討することで、更なる介護の質の向上をめざします。



健康に関するサービスの提供

生活習慣病の発症リスクを予測

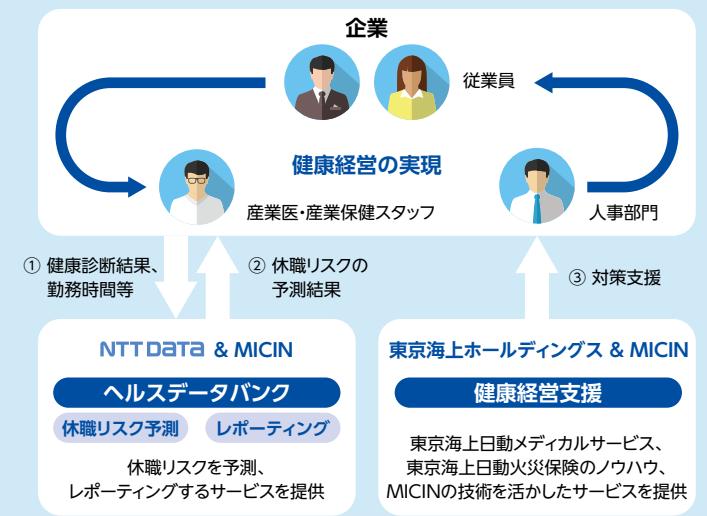
NTTデータとNTTは、生活習慣病の発症リスク予測技術(NTTのAI関連技術「corevo」の一つ)の保険業界での活用に向けて、保険会社の商品開発や加入時の査定、加入後の健康改善等における有効性を検証しています。今後、検証結果をもとに、当技術を活用した保険会社向けサービスの開始をめざします。

現在の健診データから将来の発症リスクを予測



従業員の休職リスクを予測

NTTデータ、東京海上ホールディングス及びMICINは、「健康経営」の実現のために、東京海上グループの健康経営支援の実績や、MICINの医療領域におけるAIの開発・解析技術に加え、NTTデータがヘルスデータバンク等を通じて提供してきたデータ分析のノウハウをもとに、企業における従業員の休職リスクを予測する技術を開発しました。また、予測結果に基づき必要とされるリスクへの対応策の実行支援等を含む包括的なサービスの検討も進めています。



社内における取り組み

社員が介護や育児等のライフイベントと仕事を両立し、健康で働き続けられる環境を整備することは、社員の活力向上や生産性の向上のために不可欠です。NTTデータは、各種支援を充実させるとともに、社員の健康維持・増進に向けた取り組みを推進しています。

介護・育児支援の充実

介護支援としては、社員ニーズに合わせた介護セミナーを年4回開催するなど、仕事との両立に向けた組織風土の醸成に取り組んでいます。育児支援としては、企業内託児所「エッグガーデン」の設置、育児休職・休暇社員向けの育休セミナー、復職後のキャリア形成支援のため上司・人事担当との三者面談を実施するなど、キャリア継続に向けた取り組みを積極的に行ってています。その結果、「子育てサポート企業」として厚生労働省が認定する次世代認定マーク「くるみん」を2008年から継続して受けています。

また、制度相談、日常生活に伴う様々な疑問・悩みに関する情報提供・助言を行うために、介護・育児相談窓口を設置しています。

社員の健康維持・増進

ヘルスケア 会社、産業保健スタッフ、健康保険組合の連携を強化し、心身の不調に対する予防活動に継続的に取り組んでいます。健康推進室では、セルフメディケーションを推進するための若年層からの健康教育、メンタルヘルス不調の一次予防の観点からストレスチェックの結果を活用した「職場環境改善」等を実施しています。また、2017年度より当社保健師による特定保健指導を強化し、生活習慣病の予防に向けた取り組みを実施しています。

これらの取り組みが評価され、2018年2月には経済産業省と日本健康会議が主催する「健康経営優良法人2018～ホワイト500～」に認定されました。

ワークライフバランス 社員が健康に働くために、RPA(ロボティック・プロセス・オートメーション)の活用や、オフィスや出張先、自宅等から同じ環境で業務できるインフラ環境の整備等により生産性を向上させることで、長時間労働の解消に向けて取り組んでいます。その結果、2017年度の一人当たり総労働時間は1,901時間となり、業界平均を大きく下回っています。

個人投資家様向けオンライン会社説明会開催のご案内



当社への理解を深めていただくことを目的に、個人投資家の皆様を対象にした会社説明会を下記の日程にて開催いたします。

事前登録等が不要で、どなたでもご参加いただけるようインターネット上で開催いたしますので、是非ご覧ください。

2018年12月20日(木) 20:00～20:50

IR室 室長 **瀬戸口 浩**

【オンライン会社説明会】

詳細は、下記アドレスにアクセスいただき、
カンパニー・ホットラインのホームページでご確認ください。



※開催1週間程度前に弊社ページが表示されます。※開催時間になったら閲覧可能となります。

※PC等での閲覧に際しては、事前に利用環境(音声又は動画の推奨環境)を当該サイトにてご確認ください。

株主コミュニケーション

マイナンバー制度に関する手続きについて

市区町村から通知されたマイナンバーは、株式の税務関係の手続きで必要となります。このため、株主様からお取引の証券会社等へマイナンバーをお届出いただく必要がございます。

【株式関係業務におけるマイナンバーの利用】

法令に定められたとおり、支払調書には株主様のマイナンバーを記載し、税務署へ提出いたします。

主な支払調書

- 配当金に関する支払調書
- 単元未満株式の買取請求等株式の譲渡取引に関する支払調書

会社概要

商号	株式会社エヌ・ティ・ティ・データ
本社	〒135-6033 東京都江東区豊洲三丁目3番3号 豊洲センタービル
	電話: (03) 5546-8119 (IR室)
	URL: http://www.nttdatas.com/jp/ja/
設立年月日	1988年5月23日
資本金	142,520百万円 (2018年9月30日現在)
従業員数	連 結: 121,979名 当社単体: 11,463名 (2018年9月30日現在)

マイナンバーのお届出に関するお問い合わせ先

● 証券口座にて株式を管理されている株主様

お取引の証券会社までお問い合わせください。

● 証券会社とのお取引がない株主様

下に記載の三井住友信託銀行 証券代行部までお問い合わせください。

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月
基準日	定時株主総会・期末配当 3月31日 中間配当 9月30日
株主名簿管理人及び 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
上場取引所	東京証券取引所市場第一部 電子公告(当社ホームページ URL: http://www.nttdatas.com/jp/ja/)
公告方法	ただし、事故その他やむを得ない事由によって 電子公告による公告をすることができない 場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
証券コード	9613

お知らせ

- 口座振替(特別口座から証券会社に開設した振替口座に株式を振替えること)のお手続きについては、以下の三井住友信託銀行のフリーダイヤルまでお問い合わせください。
お問い合わせ先:
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話: ☎ 0120-782-031(平日9:00~17:00)

株式に関するお届出及びご照会について

証券会社に口座を開設されている株主様のご住所変更等のお届出及びご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。
特別口座の株式についてのご照会及びご住所変更等のお届出は、上記のフリーダイヤルまでお願いいたします。